令和2年度 愛知学泉短期大学シラバス

科目番号	科目名	担当者名	実務経験のある 教員による授業 科目	基礎·専門 別	単位数	選択・必修	開講年次• 時期
23205	公衆栄養 The Public Nutrition	鈴木 幸男	~	専門	2	必修	1年前期

科目の概要

「公衆栄養」では、地域社会における個人や集団に対し人間栄養学の実践に必要な理論と展開方法を習得する。また、国民健康・栄養調査を始め各種統計データから健康や栄養の現状を把握し、健康課題や栄養課題を発見し、改善に向けた実践技術を理解する。この授業では、情報の収集、分析、評価等をとおして適切な栄養関連サービスを行政の立場から提供するマネジメント能力を学修し、栄養士に必要な客観的な証拠に基づいて科学的に判断する能力を付ける。 行政栄養士として、保健所等で地域住民の健康の保持増進事業、地域の実態把握、課題の明確化、目標の設定及び健康増進計画策定の経験があり、公衆栄養マネジメントの過程を実践的な授業で行う。

学修内容 到達目標

国民の健康や栄養課題を的確に把握し、公衆栄養プログラムの展開方法と課題解決 に向けた公衆栄養施策の立案について知り、説明できるようになることを目標とす 7

健康増進法及び健康日本21や食生活指針等の根拠と施策について知り、説明できるようになることを目標とする。

各種栄養統計データの活用方法を知り、説明できるようになることを目標とする。

国民の健康や栄養課題を的確に把握し、公衆栄養プログラムの展開方法が理解できることと課題解決に向けた公衆栄養施策の概要が説明・適用することができる。 健康増進法及び健康日本21や食生活指針等の根拠と施策の概要が説明できる。 各種栄養統計データを活用できることと説明ができるようになる。

学生に発揮させる社会人基 学生に求める社会人基礎力の能力要素の具体的行動事例 礎力の能力要素 地域社会の健康増進や疾病予防を達成するという目標に向かって、指示が無くとも、課題解決に必要な知識 主体性 について、教科書・文献を使用して自己学修をすることができる。 前に踏 み出す働きかけ力 力 到達目標等を確認し、困難があっても目標を変更せず到達することができる。 実行力 公衆栄養の課題検討等については、思い込みや憶測ではなく、事実に基づいて情報を客観的に整理し、課題 課題発見力 を見極めることができる。 考え抜 計画力 く力 地域の健康や栄養課題等の検討を始め、物事を考える時には固定概念に捉われず、いろいろな方向から考えること 創造力 ができる。 公衆栄養活動のあり方等、整理した内容を的確な文章で表現できる。さらに、発表の仕方を工夫して説明で 発信力 人の意見を確認し、その意見から新たなことに気づき、さらに自分の意見を述べることができる。 傾聴力 千一1 柔軟性 で働く 力 情況把握力 無断欠席はせず、円滑に授業が進行するようルールを守ることができる。 規律性 ストレスコントロール力

テキスト及び参考文献

テキスト:ウエルネス公衆栄養学 前大道敦子、前原知子編集(医歯薬出版) 価格2,800円+税

他科目との関連、資格との関連

他科目との関連:栄養学、食品学、栄養教育論、公衆衛生学

資格と野関連:栄養士免許

学修上の助言	受講生とのルール
覚えることが多いので、教科書や資料等を活用し、次回講義までに公衆栄養の活動状況や評価を理解して備えることと講義後は積極的に復習を図ってください。	授業中は、講義内容について積極的に質問してください。授業で配布する資料の予備は保管しません。出席者からコピーさせてもらってください。 不明な点は文献やインターネットー等で調べ、習得の向上に努めてください。

【評価方法】

評価 評価方法		価方法	評価の 割合	到達 目標		各評価方法、評価にあたって重視する観点、評価についてのコメント			
		筆記(レポ ート含む)・ 実技・口述 試験	60	1	~	到達目標のに対応して、国民の健康や栄養課題、公衆栄			
	学期末試			2	~	│養プログラムの展開方法、公衆栄養施策の立案の概要、健康増 │進法及び健康日本21、食生活指針等の根拠と施策の理解を試			
				3	~	す問題を出題し、評価する。			
	験			4					
				5					
				1	/	小テストは後半期に2回行う。 国民の健康や栄養課題を的確に把握し、公衆栄養プログラムの展			
				2	~	開方法を理解でき、さらに課題解決に向けた公衆栄養施策の立			
		小テスト	20	3	~	案、健康増進法及び健康日本21や食生活指針等の根拠と施策が 理解できているか確認する。			
				4		穴埋め式、五択方式等で出題するが、出題範囲は各時点までの授業で学修した内容とする。			
学修成果				5		(スピリア) によって、 。			
成果			10	1	~	レポートは後半期で1回実施する。 課題については「我が国の健康課題と栄養課題について」			
	平常評価	レポート		2	~	・			
				3	~	で、授業で学修した内容 2 題をそれぞれ800字程度で自分の 言葉でまとめる能力、表現の仕方、説明の明確さで評価す			
				4		る。			
				(5)					
		成果発表 (プレゼンテ ーション・作 品制作等)		1					
				2					
				3					
				4					
				5					
		社会人基礎力(学修態度)	10	1		(主体性)地域社会の個人や集団の健康増進等の達成に向け、指示が無くとも、自己学修をしていたかで評価する。 (実行力)困難があっても目標を変更せずに到達できたかで評価する。			
学修行動				2		(課題発見力)公衆栄養の課題検討等について思い込みや憶測ではなく、 事実に基づき情報を整理し、課題を見極めたかどうかで評価する。 (創造力)物事を考える時に固定観念に捉われず、いろいろな方向から考			
				3		えられたかどうかで評価する。 (発信力)整理した内容を的確な文章で表現し、さらに発表の仕方に工夫があったかどうかで評価する。			
				4		(傾聴力)人の意見を確認し、さらに自分の意見を述べたかどうかで評価する。 (規則性)無断欠席はしないこと。欠席した場合は欠席届を提出し、欠席			
				5		- フォローレポートを受け取り、期日までに提出すること。レポートの提出 - 状況で評価する。 -			
Á	 総合評	<u>l</u> 価 割合	100						

【到達目標の基準】

到達レベルS(秀)及びA(優)の基準	到達レベル B(良) 及びC(可) の基準
国民の健康や栄養課題を的確に把握し、公衆栄養プログラムの展開方法、課題解決に向けた公衆栄養施策の立案ができること、また、健康増進法及び健康日本21や食生活指針等の根拠と施策が習得でき、論理的かつ的確に説明することができること。()地域公衆栄養計画書が非常に的確に作成でき、公衆栄養プログラムがPDCAに基づき確実に展開できる手法が説明でき、さらに栄養士認定試験ガイドラインで示す本領域での知識を詳細かつ的確に説明ができること。(2)S(秀)= + A(優)= 又は	国民の健康や栄養課題を的確に把握し、公衆栄養プログラムの展開方法、課題解決に向けた公衆栄養施策の立案が概ねできること。()健康増進法及び健康日本21や食生活指針等の根拠と施策が習得でき、論理的に説明することができること。()B(良)= + C(可)= 又は

週	学修内容	授業の 実施方法	到達レベル C(可)の基準	予習•復習	時間 (分)	能力名
1週	オリエンテーション 公衆栄養の概念 ヘルスプロモーションに ついて理解する。	講義(教科書・資料・パワーポイント) グループディスカション	公衆栄養やヘルスプロ モーションの概要につ いて説明できる。	(復習)公衆栄養活動についてまとめておくこと。 (予習)ヘルスプロモーションについて教科書を読み、ポイントを3つに整理しておくこと。		主課見創領規制
2週	公衆栄養活動 ヘルスプロモーションの ための公衆栄養活動につい て理解する。	講義(教科書・資料・パワーポイント) グループディスカション まとめ発表 質疑応答 先週の学習内容を質疑応 答形式で実施し、フィー ドバックする。	どのような方法で公衆 栄養活動を展開するか について説明ができ る。	(復習) ヘルスプロモーションの概念図についてまとめておくこと。(予習) わが国の健康・栄養課題について教科書を読み、ポイントを3つに整理しておくこと。	18 0	主課見創領規制
3週	健康・栄養問題の現状と課題 社会環境と健康・栄養問題について理解する。	講義(教科書・資料・パワーポイント) グループディスカション まとめ発表 質疑応答 先週の学習内容を質疑応答 形式で実施し、フィード バックする。	わが国の健康、栄養問 題の現状と課題につい て説明ができる。	(復習)日本における健康問題、栄養問題と対策をまとめておくこと。 (予習)わが国の死因状況、生活習慣病の罹患率について把握しておくこと。	18	主課見創領規制
4週 /	健康状態の変化 死因、生活習慣病の保有 率等の推移について理解す る。	講義(教科書・資料・パワーポイント) グループディスカション まとめ発表 質疑応答 先週の学習内容を質疑応答 形式で実施し、フィード バックする。	わが国の死因状況、生 活習慣病の罹患率につ いて説明ができる。	(復習)日本における肥満 者割合と生活習慣病有病率 から対策をまとめておくこ と。 (予習)我が国の食生活の 推移について教科書を読 み、ポイントを3つに整理 しておくこと。	18	主課見創師規律性発
5週	食生活・食環境の変化 栄養素の推移、食品群別 摂取量や食料受給率につい て理解する。	講義(教科書・資料・パワーポイント) グループディスカション まとめ発表 質疑応答 先週の学習内容を質疑応答 形式で実施し、フィード バックする。	わが国の栄養素摂取量 の推移や食料受給率の 変化について説明がで きる。	(復習)日本における摂取 栄養量の推移と生活習慣病 の割合についてまとめてお くこと。 (予習)我が国の栄養政策 について教科書を読み、ポ イントを3つに整理してお くこと。	18 0	主課見創師規律性発
6週	栄養政策 公衆栄養活動、関連法 規、栄養士制度について理 解する。	講義(教科書・資料・パワーポイント) グループディスカション まとめ発表 質疑応答 先週の学習内容を質疑応答 形式で実施し、フィード パックする。	健康増進法や栄養士法 の内容について説明が できる。	(復習)健康増進法の目的と指針についてまとめておくこと。 (予習)国民健康栄養調査の概要についてポイントを3つに整理しておくこと。	18	主課見創師規律性
7週 /	国民健康・栄養調査 調査の意義や内容と国民 の栄養状況について理解す る。	講義(教科書・資料・パワーポイント) グループディスカション まとめ発表 質疑応答 先週の学習内容を質疑応答 形式で実施し、フィード バックする。	国民健康・栄養調査の 調査内容、結果につい て説明ができる。	(復習)国民健康・栄養調査の結果から我が国の健康状況と栄養とめておくこと。 (予習)食事パランスガイドの概要についてポイントを3つに整理しておくこと。	18 0	主課見創領規制
8週	食生活指針・食事バランス ガイド わが国の栄養施策につい て理解する。	講義(教科書・資料・パワーポイント) グループディスカション まとめ発表 質疑応答 先週の学習内容を質疑応答 形式で実施し、フィード パックする。	食事バランスガイドの 活用方法について説明 ができる。	(復習)食事バランスガイ ドの集計結果から栄養指導 内容をまとめておくこと。 (予習)健康日本21について教科書を読み、ポイントを整理しておくこと。	18 0	主課見創領規制
能力タ	・主休性 働きかけ力 宝行力	理題發見力 計画力	創造力 発信力 佰瞄士		<u>+</u>	相律性

能力名:主体性 働きかけ力 実行力 課題発見力 計画力 創造力 発信力 傾聴力 柔軟性 情況把握力 規律性 ストレスコントロール力

週	学修内容	授業の 実施方法	到達レベル C(可)の基準	予習•復習	時間 (分)	
9週	健康日本 2 1 と地方計画 健康増進の概念と健康づくり施策について理解す る。	講義(教科書・資料・パワーポイント) グループディスカション まとめ発表 質疑応答 先週の学習内容を質疑応答 形式で実施し、フィード バックする。	健康日本21(第2次)の内容と基本方針について説明ができる。	(復習)健康日本21 (第2次)の概要と基本 方針をまとめておく。 (予習)各種栄養調査方 法の概要を確認し、ポイントを3つに整理しておく。	18	主課見創領規律性発
10 週 /	食事摂取量の測定方法 各種の栄養調査法と地域 住民の栄養問題について理 解する。	講義(教科書・資料・パワーポイント) グループディスカション まとめ発表 質疑応答、レポート作成 わが国の健康課題を対解とから 作成し、PPで模範解答例を 提示し、内容を意見交換する 形態でフィードパックする。	24時間思い出し法を始め、各種の調査の利点と欠点について説明ができる。	(復習)各種食事調査法の 特色(利点と欠点)から、 望ましい調査法の選択につ いてまとめておく。 (復習)食事調査データの 見方についてポイントを3 つに整理しておくこと。	18	主課見創発傾規実性発力力力力性力
11週 /	食事摂取量の評価方法 調査から得られた栄養素 等摂取量のデータ解析につ いて理解する。	講義(教科書・資料・パワーポイント) 小テスト グループディスカション 先週の学習内容を質疑応答形式で実施し、フィードバックする。 小テストを実施し、正答発表と解説を行いフィードバックする。	調査結果から食事比率、栄養比率等の状況について説明ができる。 小テストで評価する。	(復習)食事摂取量の調査後の内容評価をまとめること。 (予習)公衆栄養マネジメントの概要についてポントを3つに整理しておくこと。	18	主課見創発傾規実性発力力力力性力
12 週 /	公衆栄養マネジメント 地域集団の栄養課題解決 の活動方法について理解す る。	講義(教科書・資料・パワーポイント) グループディスカションまとめ発表、質疑応答 先週の学習内容を質疑応答形式で実施し、フィードバックする。	公衆栄養活動の進め方 や行政栄養士の役割に ついて説明ができる	(復習)保健所栄養士と市町村保健センター栄養士の業務をまとめておくこと。(予習)栄養アセスメントのポイントを3つに整理しておくこと。	18	主課見想傾規律性発力力力性性
13 週 /	公衆栄養アセスメント アセスメントの目的と方 法及び手順について理解す る。	講義(教科書・資料・パワーポイント) グループディスカション まとめ発表 質疑応答 先週の学習内容を質疑応 答形式で実施し、フィー ドバックする。	PDCAサイクルに基づ く活動の手順について 説明ができる。	(復習)地域の栄養課題とPDCAサイクルについてまとめておくこと。 (予習)地域公衆栄養計画の概要についてポイントを3つに整理しておくこと。	18 0	主課見別貨票
14 週 /	公衆栄養プログラムの計画、実施、評価 計画の立案や実施方法、 評価方法について理解する。	講義(教科書・資料・パワーポイント) グループディスカション まとめ発表 質疑応答、グループ討議 公衆栄養活動をグループ 討議し、発表してフィー ドバック	計画の期間、対象、関係者の役割、評価の仕方について説明ができる。	(復習)公衆栄養活動の実施におけるPDCAの手順をまとめること。(予習)ライフステージごとに展開要についてポイントを3つにまとめておくこと。	18	主課見別貨票
15 週 /	公衆栄養プログラムの展開 ライフステージ別、生活 習慣病ハイリスク集団別の 展開について理解する。	講義(教科書・資料・パワーポイント) 小テスト 小テストを実施し、正 答発表と解説を行い、 フィードバックする。	栄養・運動・休養・たばこ・アルコール・歯の健康の対策と展開方法を理解できる。 小テストで評価する。	(復習)栄養・運動・休養・たばこ・アルコール・ 歯の健康の6項目の展開方法をまとめる。	18 0	主課見創発傾規実体題力造信聴律行力力力性力

能力名:主体性 働きかけ力 実行力 課題発見力 計画力 創造力 発信力 傾聴力 柔軟性 情況把握力 規律性 ストレスコントロール力